

商工会地域の景況感は全業種で改善するもマイナス圏は脱せず。特に小売業は厳しい状況
 来期、製造業、小売業、サービス業は改善見通し、建設業は悪化見通し
 -2024年4月~6月期 中小企業景況調査報告書概要-

日銀が2024年7月1日に発表した6月の企業短期経済観測調査(短観)によると、企業の景況感を示す業況判断指数(D・I)は、大企業・製造業で昨年3月の調査から2ポイント改善しプラス13となった。鉄鋼が悪化したものの、化学、石油・石炭製品、繊維などで改善。大企業・非製造業は、3月調査からマイナス1ポイント悪化し、4年(16期)ぶりの悪化となったが水準としてはプラス33と高い水準。小売業が前期比マイナス12ポイントと悪化幅が大きい、通信や運輸・郵便などで改善がみられた。

中小企業の業況判断指数は、製造業では前回調査と変わらずマイナス1、非製造業は1ポイント悪化してプラス12であった。製造業はゼロ近辺で横ばいの動きが続いている。非製造業は比較的高い水準で推移している。

販売価格判断(上昇-下降)を見ると大企業・製造業ではプラス29と4ポイント上昇、中小企業・製造業ではプラス30で同じく4ポイント上昇。一方、仕入価格判断(上昇-下降)は大企業・製造業でプラス47と5ポイント上昇、中小企業・製造業はプラス61で5ポイント上昇。販売価格の上昇以上に仕入れ価格の上昇が進んでいることが伺える。

3か月後の先行き見通し(2024年9月予測)は、大企業・製造業は今年より1ポイント改善しプラス14と予測されている。非製造業では、6ポイント悪化のプラス27と予測されている。中小企業では、製造業が今年より1ポイント改善し±0、非製造業は4ポイン

ト悪化のプラス8と予測されている。

内閣府が2024年6月27日に発表した6月の月例経済報告では、景気全体の基調判断は2月に「このところ一部に足踏みも見られるが、緩やかに回復している」から「このところ足踏みも見られるが、緩やかに回復している」に引き下げた判断を維持。個別項目の「業況判断」は、「改善している」という見方を維持している。先行きについては、「雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復が続くことが期待される。(中略)ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている」としている。

県内商工会地域の景況調査においては、今期(2024年4月~6月)の業況に関するD・I値は、製造業が前期より20.9ポイント改善しマイナス9.1、建設業は17.7ポイント改善しマイナス4.0、小売業が8.4ポイント改善しマイナス41.6、サービス業が19.6ポイント改善しマイナス7.4となっている。全業種でD・I値は改善し、製造業、建設業、サービス業では大幅な改善となったがマイナス圏内にとどまり、小売業ではまだマイナス幅が大きい。来期(2024年7月~9月期)の業況予測は、製造業が今年実績より9.1ポイント改善し0.0、建設業が8.0ポイント悪化しマイナス12.0小売業は5.5ポイント改善しマイナス36.1、サービス業は3.7ポイント改善しマイナス3.7を予測している。来期については建設業以外の業種では改善が予測されている。

業界天気動向図

項目	売上				採算(経常利益)				資金繰り			
	2023	2024		2023	2024		2023	2024		2023	2024	
年月	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4
業種	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D・I値(前年同期比)	20.1~	5.1~20.0	5.0~△5.0	△5.1~△20.0	△20.1~△35.0	△35.1~
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

(数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す)

業種	1位		2位				3位			
製造業	原材料価格の上昇		原材料の不足		人件費の増加		製品ニーズの変化、生産設備の不足・老朽化、製品(加工)単価の低下・上昇難、需要の停滞			
前期	19.4	23.5	9.7	11.8	12.9	11.8	—		8.8	
建設業	1位		2位				5位			
1位にあげる問題点	材料価格の上昇		従業員の確保難		人件費の増加		請負単価の低下・上昇難		民間需要の停滞	
前期	45.8	20.8	12.5	20.8	0.0	12.5	4.2	12.5	0.0	12.5
小売業	1位		2位				4位		5位	
1位にあげる問題点	仕入単価の上昇		購買力の他地域への流出		販売単価の低下・上昇難		その他		同業者の進出、消費者ニーズの変化、店舗の狭隘・老朽化、従業員の確保難	
前期	15.4	34.3	12.8	11.4	10.3	11.4	2.6	8.6	—	5.7
サービス業	1位		2位		3位		4位			
1位にあげる問題点	材料等仕入単価の上昇		利用者ニーズの変化		店舗施設の狭隘・老朽化		人件費以外の経費の増加		需要の停滞	
前期	39.2	49.0	7.8	8.2	7.8	8.2	15.7	8.2	5.9	8.2